

## 第 207 回 暮らしの SDGs 学習会 議事録

1. **出席者** (敬称略) 増永、吉永、横田、難波、大塚、小川、前崎、筒井 (記)
2. **日時** 2025 年 2 月 14 日 (金) 13:30 ~ 15:00
3. **場所** 生涯学習センター 3 階 大会議室
4. **テーマ** 日本は 2050 年カーボンニュートラルを実現出来るか (討論会)
5. **参考資料**
  - ・ 1.5°C 目標達成への世界や日本の CO2 削減の経路 (千葉県温暖化防止活動推進員研修 (2024 年 12 月 2 日) より抜粋)
  - ・ COP29 閉幕に関する記事 (国立環境研究所社会システム領域からの記事)
  - ・ 日本の第 7 次エネルギー基本計画内容 (抜粋)
  - ・ 世界の国別人口及び一次エネルギー総供給量
  - ・ COP29 報告会動画 (Can-Japan セミナーから抜粋)
6. **内容**

最初に学習会担当の筒井から、上記参考資料の内容を説明し、いずれも 1.5°C 目標達成は厳しいという論調であるとして、出席者の意見を求め、討論に入った。(以下、主な意見)

  - \* 世界の気候変動対策は、京都議定書に始まりパリ協定へと続いた。しかし、京都では CO2 排出削減が義務付けであったが、パリでは目標設定にとどまっておらず、対策が緩和されている。また、COP の会議も世界の会議で似たような会議に出席したことがあるが、参加者は各国知人同士のような感じだった。
  - \* 既に世界の平均気温の上昇は、1.5°C 近くになっており、今の状況では、達成は厳しいのではないかと感じる。
  - \* 状況は厳しいが、各自が出来ることをコツコツとやるのが大切だ。
  - \* COP の会議そのものが、人が多く集まり過ぎで、非生産的だと感じる。もっと成果が上がるよう人数を絞り効率的な会議にすべきと感じる。
  - \* 世界の国別人口やエネルギー供給量を見ると、中国・インド・アメリカなどが圧倒的に多く、アメリカはトランプ政権になったこともあり、今後の気候変動対策は、非常に厳しくなると思われる。将来が不安。
  - \* COP の会議が気候変動対策の資金支援の取り合いになっているような感じで、気候変動対策のために方策の議論があまりないような気がする。

### <次回予定>

- 日時** : 2025 年 3 月 14 日 (金) 13:30 ~ 15:00
- 場所** : 生涯学習センター 3 階会議室
- 内容** : SDGs について改めて考えてみよう (討論会)
- 司会** : 筒井義憲 (SDGs 学習会担当)